



小学部

福江小特別支援学級との交流及び共同学習

小学部では、福江小学校特別支援学級との交流及び共同学習を年に3回実施しています。6月16日(金)に行った1回目の交流は、新転入生の自己紹介から始まりました。一人一人の自己紹介の後には自然と拍手が生まれ、温かい笑顔に包まれた時間が流れていきました。レクリエーションでは、「貨物列車」の音楽に合わせてじゃんけん遊びを行ったり、パラバルーンを用いた遊びを行ったりしました。「じゃんけんぽん!」と体育館いっぱいに声を響かせて、楽しく活動する子どもたち。交流を重ねてお互いの名前を呼び合う姿や、新入生に優しく声を掛けてくれる上級生の姿がたくさん見られていました。今回の交流をきっかけに、更に関わりを深めていけたらと思います。



〈自己紹介の様子〉



〈じゃんけん遊びの様子〉

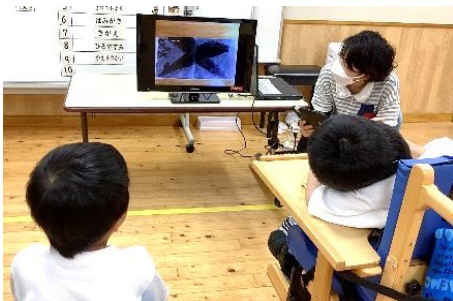


〈パラバルーン遊びの様子〉



平和学習「へいわってどんなこと？」

8月9日の平和の日を前に、平和学習を行いました。小学部では、1945年8月9日、長崎に原子爆弾が投下され多くの方が命を奪われたことや、私たちが生きる今もなお戦争が起きていることを知り、身近な人との関わりや、日々の生活に置き替えながら「戦争と平和」について考えました。「家族と一緒に過ごせること」「ご飯が食べられること」「友達とたくさん遊べること」「勉強ができること」など、生活の中に「平和」があふれていることに気付くことができた子どもたちが多くいました。8月9日には、福江小学校と合同で平和集会を行い、子どもたち一人一人が思いを込めて作った折り鶴の献鶴式や平和宣言の発表などに取り組みます。





中学部では、福江中学校特別支援学級との交流及び合同学習を年に2回実施しており、7月6日(木)に1回目の交流が行われました。

今回は鶴南中学部が福江中学校に出向いての交流でした。最初の自己紹介では、自分の名前の他に好きなものや趣味などを、みんなの前で堂々と発表することができました。次にジェスチャーゲームをしました。それぞれの背中に貼られた動物のイラストを見て、声を出すことなく身振りだけで相手に分かってもらえるように工夫しながら伝える姿が見られました。そして、そのイラストごとにチームになり、ボウリングを行いました。通常より随分と小さめのピンやボールに苦戦しながらも、しっかりと的を見て力を込めて投げ、一球一球とても盛り上がっていました。○×クイズは、長崎県の観光地や文化、食べ物などについて、学校ごとに出题しました。「五島牛のルーツ」や「ランタンフェスティバルのランタンの数」「ハウステンボスの恐竜の森」など様々な問題に答え、解説を聞いた後には、「知らなかった」「勉強になった」などの感想が聞かれました。

次の交流は五島分校であります。今回の交流をきっかけに、職業などの授業交流で関わりを深めていきたいです。

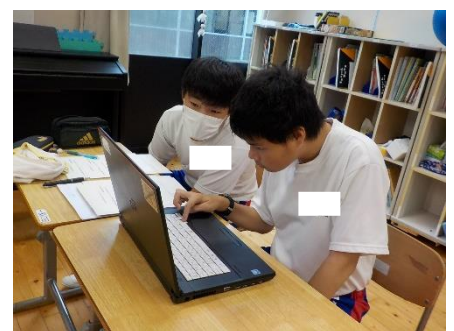


「五島市の身近な課題を見付けよう」

一学期の中学部の総合的な学習の時間では、「五島市の身近な課題を見付けよう」という学習をしました。

まず、自分たちで課題について考えた後、たくさんの人の意見を聞きたいということで、インタビューやアンケートをとることになり、どんな場所で何を聞けばよいかを考えたり、パソコンでアンケート用紙を作ったりして準備をしました。インタビューでは、実際に商店街や福江港ターミナルなどへ出掛けて、町の人の声を聞きました。初めは緊張してなかなか声を掛けられずに戸惑ってしまうこともありましたが、勇気を出して声を掛けてみるとたくさんの貴重な意見を聞くことができました。また、アンケートは、五島分校の保護者や職員だけでなく、福江小の児童や海陽高校の生徒、先生方にもご協力いただき、たくさんの意見が集まりました。これらをグループごとに集約し、表やグラフを作ったり、考察をしたりしながらまとめ、発表の準備をしているところです。

二学期はこの結果を基に、さらに考えを深めながら、「五島市のためにできることを考えよう・やってみよう」という学習に取り組んでいく予定です。





高等部

海陽1年生との交流及び共同学習



高等部では、5月に海陽高等学校1年生との交流及び共同学習をしました。自己紹介に始まり、ことばの階段ゲームや棒づくり、ボール運びゲームや座ったままの風船バレーなど、様々なレクリエーションを通して交流しました。初めは緊張した様子だった生徒たちも、ゲームが始まると声を掛け合って協力しながら活動する姿が見られました。二学期には体育祭や文化祭など、海陽高等学校との合同行事があるので、お互いに盛り立てながらがんばってほしいと思います。



校外学習



7月7日(金)は、社会科の授業の一環で、市役所へ行ってきました。生徒たちは、各学習グループに分かれ、事前に学んだ住民票の取得に必要な手続きを行ったり、地図を確認しながら市役所館内を案内していただいたりしました。学校での学習では体験できない貴重な経験をすることができました。





「五島が来てる」

今、五島が来てる！

ドラマ「舞いあがれ！」が注目を浴びたことをきっかけとして、日本の島の中で一番の注目度といっても過言ではないくらい五島の人気は高いと感じています。五島市民の皆さんも、観光客が多いなど実感されているのではないのでしょうか。さらには「ばらかもん」という五島を舞台とした漫画が今夏ドラマ化されることを皆さんはご存じでしょうか。生徒の間では漫画を手、「今度ドラマになるってよ」「ロケしてるってテレビで紹介されていました」など話題に上がり、今後、さらに五島の注目度は上がっていくことが予想されます。まさに「来てる！」状態です。

私はこの漫画「ばらかもん」の内容は詳しくは知りませんが、五島に赴任してから「ばらもん」という言葉をよく耳にします。「ばらもん風」に「バラモンキング」、「ばらもん亭」・・・はて？この言葉の意味は？語源は？

五島の「ばらもん」という言葉は、「活発な、元気がいい」などの五島の方言「ばらか」からきていているとされています。「ばらもん風」は鬼が兜を^{くわ}銜え込んだ姿をかたどっており、嵐の中鬼が真正面から兜を^{くわ}銜えたままでも前へ進み続ける、敵に後姿を見せぬ勇猛な武者を表現しているということです。

さて、私が五島分校に赴任してから約3か月が経ちました。「ばらかもん」という言葉を体現するかのようになり、元気で活発でユーモアのある生徒たちとの日々は、大変刺激的で、たくさんの活力をもらっています。

先日、高等部では、前期の現場実習を終えました。私自身教師になって初めて現場実習を経験させていただきました。緊張や不安がありながらも、前のめりで真剣に取り組む生徒たちの姿にはとても感動しました。学校外といった普段とは異なる場所で、失敗や成功を繰り返し、そして、いろいろなことを自分で考えながら、仕事を続けることの大切さやそのやりがいを肌で学んでいるのだなと感じました。「ばらかもん」とは、このように真剣でまっすぐに取り組む姿勢や気持ちのことを表す意味も含んだ言葉なのではないのでしょうか。

学校ホームページでは、五島分校の学習の様子を紹介しています。時には楽しく、時には真剣な表情で生き生きと学習する子供たちの様子を見ることが出来ます。

冒頭で「五島が来てる！」と記しましたが、今後も五島分校のみんなの頑張りを、様々なところで様々なかたちで発信していき、多くの人に「今、五分が来てる」と感じていただけるよう、魅力ある子供たちの姿を紹介していきたいと思えます。

学校ホームページで「ばらかもん」を体現するかのような子供たちの姿をぜひご覧ください。

高等部主事 吉村 英治

